



表紙紹介

えりも小学校の入学式が、4月8日、新型コロナウイルス感染症対策による自粛ムードの中、行われました。例年と違い、マスク姿の新1年生16名と保護者のみで、在校生や多くの来賓が不在の寂しい入学式となりましたが、一人ひとり名前を呼ばれると大きな声で元気よく返事をしていました。

P 2 令和元年度3月定例会
補正予算・条例改正他

P 3 予算特別委員会 質疑

P 4-5 令和2年度予算の概要
予算特別委員会を終えて

P 6-10 一般質問6名 10件

P 11 全員協議会 報告

P 12 「この人に聞く」
歌露和太鼓会「西風」
佐々木 将道さんに
インタビュー

えりも町議会第5回定例会

第5回定例町議会が3月10日に開会し、19日まで開催されました。(11日～17日まで休会)
令和元年度予算の補正、条例の改正等、また、最終日には、令和2年度の予算を審議するための予算特別委員会が開催され、すべて原案通りに可決されました。

補正予算

一般会計(歳出)

- ・公共施設等総合管理基金積立金 3160万円
- ・えりも岬レストハウス公有物件災害共済金を基金に積立

- ・過誤納等還付償還費 154万2000円
- ・町税還付金と放課後児童クラブ事業補助金の返還

- ・介護予防支援施設運営費 50万円
- ・ケアホームいずみの施設管理費不足見込みのため

- ・児童福祉振興費 31万3000円
- ・幼稚園の施設等利用給付費の不足見込みのため

- ・常設保育所運営費 51万3000円
- ・臨時保育士の賃金を追加

- ・鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金

▲470万5000円
捕獲頭数が減少したため

一般会計(歳入)

- ・分収造林事業委託料 ▲651万7000円
- ・当年度事業確定のため

- ・ふるさと納税寄付金 4億円
- ・ふるさと納税寄付金が増額予想のため

- ・福祉センタートイレ等改修事業補助金 105万円
- ・福祉センタートイレ等改修事業に対する地域づくり総合交付金

- ・北海道海岸漂着物等地域対策推進事業補助金 12万5000円
- ・海岸漂着物等の処理に対する補助金

- ・町有地貸付収入 90万円
- ・和里地区の子豚繁殖牧場土地貸付収入を追加計上

条例改正

・えりも町介護保険条例の改正

介護保険法の改正により、第1号被保険者(65歳以上の者)に係る、第1段階から第3段階の保険料基準額に対する割合を引下げ、低所得者の負担軽減を図るもの

- ①第1段階の保険料率を改正 24700円↓19800円
- ②第2段階の保険料率を改正 41300円↓33000円
- ③第3段階の保険料率を改正 47900円↓46200円

人事

- ・えりも町公平委員の選任 えりも町字新浜 齊藤 敏克(69歳) 再任
- ・えりも町固定資産評価審査委員の選任 えりも町字本町 芳賀 則雄(59歳) 再任

予算特別委員会

定例町議会最終日の3月19日、町側から提示された令和2年度の予算案に対する質疑応答が行われました。
各委員から多くの質疑がありました。内容を抜粋し掲載します。

学校プール

質疑（竹内）

- ① 学校プールの完成予定は。
- ② 国庫補助金が約3200万円であるが、補助基本額、補助率は。
- ③ 昨年9月に概要説明があったが、その内容に大幅な変更はあるか。

答弁（学校教育課長）

- ① 完成予定は令和3年6月を目途としている。



旧町民プールの内観

② 補助基本額は約

1億円で、補助率は1/3、残り4億円余りは過疎債を予定している。

③ 説明当時と大幅

な変更はない。

再生エネルギー発電に関わる収税は

質疑（橋本）

固定資産税の内、風力、太陽光発電の収税額は。

答弁（税務課長）

小型風力発電は、昨年末で町内に23基あり、令和2年度予算では10基分を見込んでいます。
1 基当たり初年度分は37万円、償却期間は17年、最終的には残存価格5%となる。
太陽光発電は、令和2年度分の総数で、100万円程度となる。

スクールバス購入

質疑（大坂）

補助金を充当すると、使用目的に限られる。町民も有効利用できるように、基金を使っても購入しても良いのではないか。

答弁（学校教育課長）

スクールバスの運用は、5年を経過すれば、目的外の使用が可能となるので、できる範囲で使用したい。

防災行政無線整備

質疑（大坂）

防災行政無線更新の実施設計委託に入るが、国の方針とはいえ町の財政を圧迫する約7億5千万円と試算されている。
国に助成を求めてもよいのでは。

答弁（企画課長）

国に要望しているが、現在のところ補助制度はない。
防衛省の助成事業での採択を模索している。

ヘリコプター遊覧飛行事業

質疑（石川）

収入に対し、支出があまりにも多い。今後のビジョンを聞きたい。

答弁（産業振興課長）

中々黒字まで持っていないのは厳しいと考えている。
えりも町は、漁業と観光の町であるが、観光事業がすぐに結果を出せるかというと、難しい部分もある。

乗客は徐々に増加の傾向にあり、いま国立公園指定という動きもある中で、今後これを継続していくかは、地域おこし協力隊と一緒に、利用客増をめ

学校情報通信ネットワーク環境整備事業

質疑（大坂）

本事業は令和5年度まで実施しなければならぬが、事業実施に踏み切った要因は。

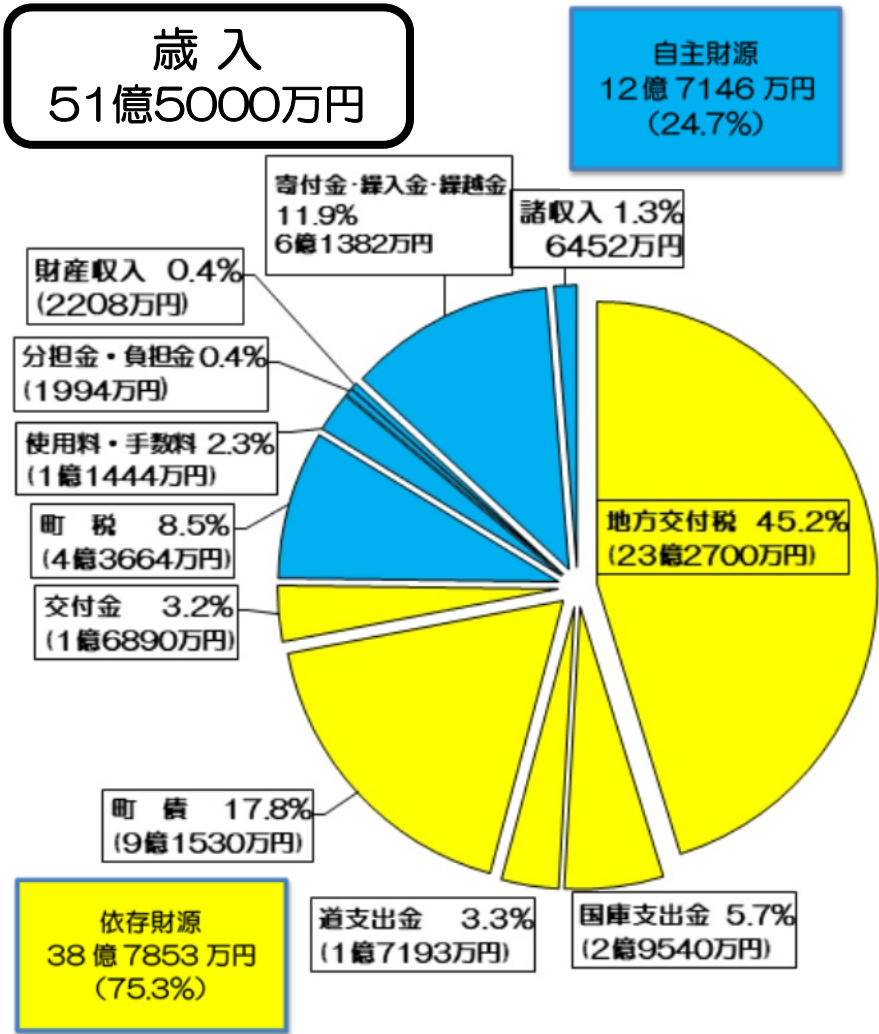
答弁（学校教育課長）

校内LAN整備に係る国の補助事業は、令和2年度限りであることから事業実施に踏み切った。
タブレットは、令和5年までの補助期間であるが、今年度は端末タブレットを小学校で92台、中学校で46台を整備する。



タブレットで学習する時代がやってきた

前年度比 6億8000万円増



えりも小学校プール新築事業 (建設予定地) 5億993万円

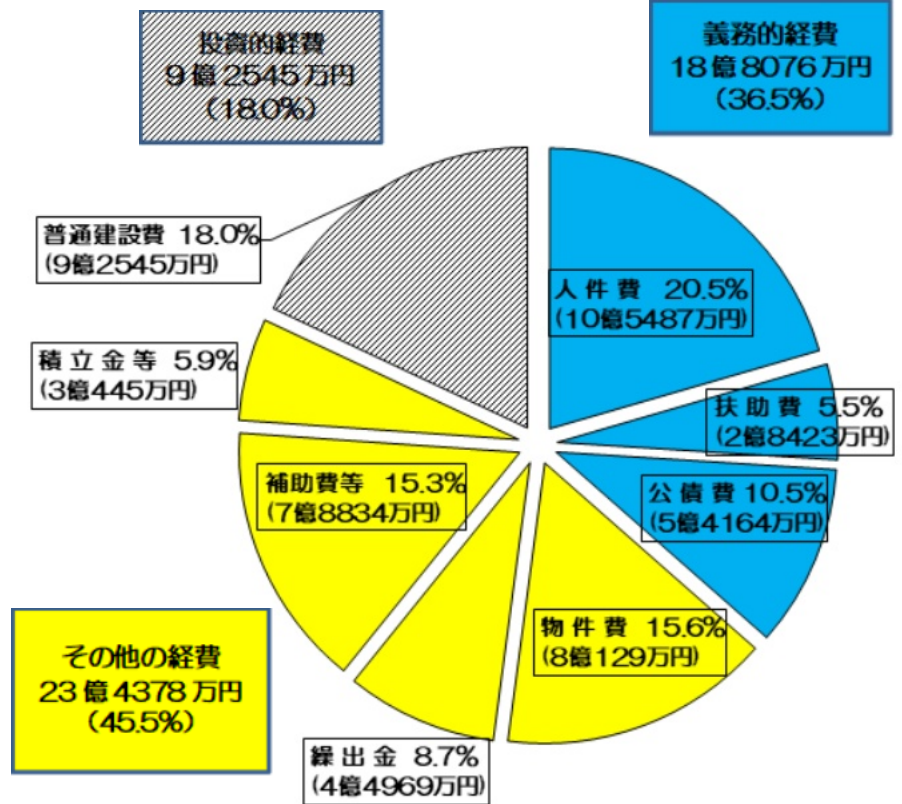
●本年度の主な新規事業

- えりも小学校プール新築事業**
 (担当：学校教育課) 5億993万円
 学校教育環境の充実のため、屋内学校プールを整備する。町内各小学校のプール授業はもとより、一般開放を行い地域住民の健康増進を図る。
- 防災行政無線更新事業** (担当：企画課)
 1,260万円
 現在の防災行政無線設備を新規格に適合した機器に更新する。工事は、令和3年度から令和4年度までを予定している。

- えりも町140年記念事業 252万円**
 令和2年は、戸長役場が設置されてから140年の記念の年であることから、記念式典のほか日本ハムファイターズ応援大使トークショーなどの記念行事を実施する。
- 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業 (担当：学校教育課・えりも高校) 6,930万円**
 GIGAスクール構想の方針に基づき、町内各小学校・中学校・高等学校において高速通信環境の整備を行う。
※GIGAスクール構想：全国の学校で義務教育を受ける児童生徒に、1人1台の学習者用PCやクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画をまとめたもの。
- 各小学校・中学校タブレット購入事業 (担当：学校教育課) 4,270万円**
 町内各小学校及び中学校に、GIGAスクール構想による「一人一台端末」環境の実現のため、教育用タブレットを導入する。
- スクールバス購入事業 (担当：学校教育課) 2,424万円**
 平成17年度に購入した大型スクールバスが老朽していることから、新規車両(中型バス)に更新し、児童生徒の通学送迎の環境向上を図る。
- 歯周病検診助成事業 (担当：保健福祉課) 7万円**
 口腔ケアの意識向上を図ることが、疾病予防さらには介護予防につながるため、歯周病検診の受診費用の全額を補助する。対象者は、節目の年齢となる40歳、50歳、60歳及び70歳の方。
- 森林整備事業【林道橋梁点検】 (担当：産業振興課) 1,100万円**
 既設林道の橋梁について、老朽等により機能低下したものの補修・機能強化等の必要な対策や課題を明確にし、今後の取り組みの基準とするため、点検診断を実施する。

令和2年度一般会計予算

歳出
51億5000万円



予算特別委員会を終えて

委員長 高松 亮裕

令和2年度の当初予算の審議という重要な案件の進行を初めて任せられました。委員並びに理事者・説明員のご協力を賜り、無事全会計の審議を終えました。心から感謝申し上げます。

さて、町長の執行方針にもありますとおり、学校プールの建設や小中高の通信ネットワーク環境の整備等、大型の財政出動を控え、直近10年間では最大の予算となりました。

不足分1億4千万円ほどは、財政調整基金等を取り崩すという、極めて厳しい財政状況の中、本委員会ですされた建設的な意見や指摘を十分に踏まえ、あらゆる経費の効率化に務め、委員各位と理事者・職員が丸となって、町政のさらなる伸展を図っていただきますよう、切にお願い申し上げます。



※ 特別会計の主な増減理由

< 国民健康保険 >

療養諸費（一般被保険者療養給付費等）
= ▲19,402千円

国民健康保険事業費納付金 = 4,065千円

診療所特別会計繰出金 = 10,000千円

< 簡易水道 >

機械・計装設備更新事業 = ▲11,030千円

消費税 = ▲5,083千円

< 診療所 >

退職手当組合負担金 = ▲12,000千円

< 下水道 >

公債費 = ▲1,871千円

< 介護保険 >

居宅介護サービス給付費 = 18,000千円

施設介護サービス給付費 = 14,000千円

地域密着型介護サービス給付費 = 6,000千円

< 後期高齢者医療 >

後期高齢者医療広域連合納付金 = 1,067千円

● 予算総括表

単位 (千円)

会計区分	予算額	前年比
一般会計	5,150,000	680,000
国民健康保険特別会計	985,000	▲5,000
簡易水道特別会計	173,000	▲17,000
診療所特別会計	330,000	▲12,000
下水道特別会計	172,000	▲3,000
介護保険特別会計	485,000	35,000
後期高齢者特別会計	67,000	1,000
小計	2,212,000	▲1,000
総計	7,362,000	679,000

そこが聞きたい！ 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



橋本 維応議員

問 免許返納者への支援は 答 どのような助成が可能か検討

問 橋本 議員

自動車免許を自主返納する高齢者が増えてきたが、返納後に町で何らかの対応ができないか。

移動販売や宅配サービス強化のため事業者に助成を行ってはどうか。

うか。現行のバス路線は、便数が少なく利便性が悪いので、民間企業へ運転を委託し、ICTを活用した利便性の高い新たな交通手段を検討しては。

答 企画課長

免許自主返納者の支援は、交通費の割引やタクシーチケットの配布等を実施する自治体が多くある。

返納者にどのような支援が必要か、検討し実施する必要がある。

Maasは、スマホアプリ等により、地域住民等の移動ニーズに対応して、公共交通やそれ以外の移動サービス

を最適に組合せ検索・予約・決済等を一括で行うサービスで、町としても日高管内各町と連携し導入の可能性や課題を整理している。

日高の地域交通方針が確定の上で、既存の

タクシー事業者、スクー
ルバスや福祉バスとの
連携等も含め新たな地
域内交通網を整備して
いく。

答 産業振興課長

現状、各事業者がそれぞれ移動販売と宅配サービスを行っており、それに対し町として助成する考えはないが、今後、免許返納により

買い物等の日常生活に支障をきたす方が多くなる

ことが予想される。実情を把握し、必要があればどのような助成が可能なのか検討していく必要がある。

町内の移動販売や、宅配サービスは高齢者に



人気がある

問 テレワークの導入は 答 現時点では難しい

問 橋本 議員

当町は、夏は涼しく冬に雪が少ないため、インターネット高速回線が整備されていれば、企業誘致をしやすい環境にあると思うので、空き家を利用した企業誘致を行ってはどうか。テレワーク(在宅ワーク)は、子育て世代の需要があり、また、最近では新型コロナウイルスの影響で、出勤に支障もきたす場合もあるので、役場の事務業務をテレワークにしてはどうか。

答 企画課長

空き家を利用した企業誘致は、札幌から遠く、国道の通行止め等、不利な要素も多くあり、誘致のための補助や支援を好条件としなければ、企業に進出していただくことは難しいと考える。

答 総務課長

テレワークの導入は、インターネットでの個人情報取り扱いや情報漏洩の防止等、高度なセキュリティ対策が必要であり、現段階では町の業務への導入は難しい。



竹内 孝文議員

新型コロナウイルスの 対応等は 感染予防に注意喚起を 促している

問 竹内 議員

道内では150件を
超える感染が確認され、
当町も対岸の火事では
ないことから、次の点
について伺いたい。
①感染拡大防止の点
からも、防災無線での
周知は必要ではないか。

道内では150件を
超える感染が確認され、
当町も対岸の火事では
ないことから、次の点
について伺いたい。
①感染拡大防止の点
からも、防災無線での
周知は必要ではないか。

道内では150件を
超える感染が確認され、
当町も対岸の火事では
ないことから、次の点
について伺いたい。
①感染拡大防止の点
からも、防災無線での
周知は必要ではないか。

道内では150件を
超える感染が確認され、
当町も対岸の火事では
ないことから、次の点
について伺いたい。
①感染拡大防止の点
からも、防災無線での
周知は必要ではないか。

答 保健福祉課長

② 診療所では発生が
確認された場合の対応
マニュアルはあるか。
③ 医療現場や介護現
場でのマスク、消毒薬
などの在庫状況は。
④ 災害備蓄品として、
マスク等の衛生用品は
備蓄品リストに入っ
ているか。
⑤ 2月27日から小中
学校は一斉休校となっ
たが、通常登校分の授
業日数の確保は。

答 診療所事務長

② 3月2日に新型コ
ロナウイルス感染症対
応マニュアルを作成、
運用している。内容は、
感染症疑い外来患者へ
の対応や確認された場
合の対応、消毒の方法、
罹患した職員の就業等
についてである。

答 学校教育課長

⑤ 小学校を卒業する
6年生は算数と国語は
履修済み。
理科と社会は未履修
があるため、中学校入
学後、中学校教員を基
本に、必要に応じ小学
校教員の同席も含め指
導する。
1～5年の在校生は、
教科によって7～15時
間の未履修がある。
新年度当初に、週当
たり1時間程度プラス
したり、夏休みを1日
程度削る等、各学校の
状況により対応する。
中学校を卒業する3
年生はすべて履修済み。
1、2年の在校生は
教科によって3～10時
間の未履修がある。
主要5教科は標準時
数内や余剰時数を活用
して指導することが可
能なことから、各教科
で工夫をして、未履修
部分の指導を年度初め
に実施する。

問

医療従事者の 奨学資金拡充を

答

早急に検討を 進めたい



大坂 庄吉議員

医療従事者の確保が問われ
る「えりも国保診療所」



町としても医療従事
者の確保対策となり、
地元就職する機会を
増やすことが出来る方
策であると考え、他町
村を参考に検討を進め
たい。

答 診療所事務長

町の奨学金制度の中
には、放射線技師及び
臨床検査技師が入っ
ていない。同じ医療職を
目指す者に対し、制度
の中に加えるべきでは
ないか。

問 大坂 議員



在庫が十分とはいえない
マスク等の衛生用品

問

新型コロナウイルスによる 町内業者への支援は

答

関係機関と協議し 必要な対策を検討する



中野 公浩議員

問 中野 議員

新型コロナウイルスの影響により、うに祭り等のイベント、各種宴会の中止などがあり、飲食・観光業界はダメージをかなり受けている。国は、無担保の貸付などしているが、現状では返済も大変だと考えている。

町は、町内の飲食・観光業界に対し、何らかの支援をする考えはないか。

答 産業振興課長

当町で感染者は発生していないが、4月予定の「うに祭り」は、実行委員会で中止を決定した。

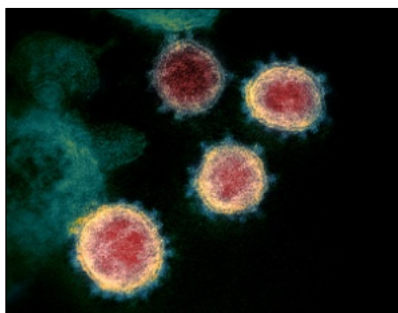
町内の飲食店と旅館においても「来客の減少」と「宿泊予約、宴会のキャンセル」が出ているとのこと。

国の新型コロナウイルス感染症対策本部は、3月10日に「新型コロナ

ウイルス感染症に関する緊急対応 第二弾」

を発表し、その中で中小・小規模事業者に対して無担保・無利子の融資を行うと発表した

が、その詳細は現状明らかになっていない。町としては、今後商工会や日高信用金庫などの関係機関と協議し、国の無担保・無利子の融資を受けられない事業者への利子補給制度の創設など必要な対策を検討していきたい。



各地で猛威を振るう
新型コロナウイルス

問

老朽化した 空き家の対応は

答

老朽危険空き家の 実態把握に努める

答 町民生活課長

道路沿いに点在する老朽化した空き家は、景観・火災・近隣家屋への飛散被害など、社会問題になっているが、撤去は建物所有者の財産権侵害にもなり、行政がどこまで介入できるか疑問である。

さらに所有者の特定も困難なケースもある。今後、町内全体の空き家実態把握と所有者への指導、代執行なども検討する。

再質問 中野議員

所有者がわかる場合、撤去費用が高いので、町で費用の一部を補助しては。

答 町民生活課長

平成27年に空き家対策特別措置法が施行された。

この目的は、
① 地域住民の財産を

保護

② 周辺地域の生活環境の保全

③ 空き家等の活用促進

その中で、老朽化した空き家等については、指導・勧告・命令・代執行の措置が行われるようになった。

しかし、個人の財産は自らが管理するという大前提のもと、危険性のある空き家等については、所有者の方と話し合い、解決していきたい。



町内各地区には空き
家が目立ってきてい
る



高松 亮裕議員

問 救命胴衣着用の徹底を

答 町独自でも 広報紙等で周知

問 高松 議員

近年、沖合漁業における海難事故が多発している。
海中転落者の救命胴衣着用時の生存率は、非着用時の2倍である

との調査報告がある。
夜間の操業やすぐには救助が難しい陸地から離れた場所での操業する沖合漁業は、一旦事故が起こると生死と隣り合わせの業種である。
基幹産業である漁業における後継者の育成と担い手の確保のための安全対策は、当町にとって重要な課題である。

答 産業振興課長

全国的に見ても漁船からの海中転落事故では、救命胴衣の着用率が約3割程度と極めて低い。

平成30年2月から国の規則が一部改正され、小型船舶の乗船者全員に救命胴衣の着用が義務づけられ、令和4年2月からは違反者に対し

し免許停止や罰金などの処分が下される。
町としても海上保安庁や漁協と協力し、救命胴衣の着用徹底に取り組んでいく。
町独自でも広報紙やホームページで周知を進めたい。

再質問 高松議員

乗組員や家族を含めた安全啓発ビデオを活用した講習会や海中での着用体験などで個人の安全意識の向上を図ってほしい。



国土交通省認定の救命胴衣には「桜マーク」があり、作業しやすい肩掛けタイプや腰巻きタイプもある

問 漁業の担い手に支援を

答 定住を見据えた 確保・育成事業を開始

問 高松 議員

現在当町では、道立鹿部漁業研修所に係る経費を1名につき30万円補助している。
類似町では同研修所に係る経費全額に加え、漁業後継者等に対し漁船や干場の取得費、倉庫の新築費などに300万円を限度に補助している。

浦河町では、新規就業者等に最大24か月を限度に月額8万円と一時金3万円、さらに借家等に居住しているものに月額5千円を補助している。
当町と比較すると、漁業の担い手に対し手厚い支援がなされている。

答 産業振興課長

これまで受益戸数の多いコンブ漁場やフノリ漁場などの造成事業に重点を置いて助成してきた経緯があるが、近隣町と比較すると新規就業者や漁業後継者に対する補助や助成が薄いことは否めない。
令和2年度から漁協・町・振興局で地域協議

会を作り、将来の定住を見据えた新規就業者確保・育成事業を開始する予定である。
具体的には、コンブ漁業とサケ定置網漁業や漁船漁業を組み合わせ、年間を通して漁業に従事し、最終的にコンブ漁業者として定住してもらおうことを目的とする。
この事業にあわせて新規就業者に対する補助や助成についても検討していきたい。



定住を見据えた新規漁業就業者のための事業に期待がかかる



神田 修議員

問 庶野～広尾間、町独自で運行を

答 費用増の可能性、慎重に判断する

問 神田 議員

JRバスとの協議は、7町が連携して進める

ようだが、
①最終結果はいつ頃と考えているか。

②高校生がJRバスからスクールバス利用に変更になったが、JRバスは高校まで運行している。運行経路の変更を早急に行うよう働きかけては。

③庶野く広尾間のJRバスの運行は、当町と広尾町で負担金を支出しているが、十勝バスや日交ハイヤー、町内業者と話し合い、予約窓口を設けるなど、町独自の運行は考えられないか。

④人口減少で利用者が減り、JRバスも鉄路同様、運行取り止めが見込まれると思うが、早めに手立てを考えては。

答 企画課長

①令和2年3月までの合意を目指していたが、新型コロナウイルス感染症の発生により、町長会

議等が開催不能なため、目的が立っていない。

②現在、日高全体の交通手段を協議中のため、ダイヤの改正や路線変更は実行できる状況にないと回答を得ている。

③同区間をほかのバス事業者等で町独自の運行となれば、広尾町との協議はもちろん、JRバスが自社運行している町内別区間の独自運行も求められる可能性はある。

そうなれば、新たな費用が発生するため慎重な考えが求められる。

④町内の交通網の整備は、日高地域の交通手段の方針が確定した後、既存のタクシー事業者やスクールバス、福祉バスとの連携を含め、JRバスへの運行影響を考慮しながら、利便性の良い持続可能な交通手段を提供できるよう検討する。



庶野く広尾間を運行しているJRバス

問 ソーラーパネル設置者の把握を

問

答 北海道と協議

問 神田 議員

町内のあちらこちらにソーラー発電施設が増えている。

以前の答弁でこの施設の耐用年数は17年と回答を得ているが、事故の発生が心配だ。

施設を確認した中で、風車は設置者や連絡先の表示があつたが、パネル施設には表示のないものが見受けられた。強風などで壊れ、被害をもたらしたときのために、町が設置者を把握しておくことが必要と思うが。

答 企画課長

太陽光発電設備が増えていく中で、管理者看板の設置されていない設備があることは確認している。

町は、令和元年11月1日、発電設備のガイドラインを改正し、事業の実施や計画をしている18の事業者や個人

に対し、ガイドラインの遵守をお願いした。

強風等による設備の破損や緊急事態発生に備え、事業者等の連絡先を把握することは必要であると考えている。

今後、北海道経済産業局と相談しながら、管理看板の設置を求めていきたい。



管理看板の未設置が見受けられるソーラーパネル

3つの案件を町と協議

へき地診療所運営費補助金の算定誤り

「4年分の影響額、約9000万円 国に穴埋めを要求」

1. 概要

- ・国では、へき地住民の医療を確保するため、直営診療所の運営費に対して補助する制度があり、当診療所も年間診療日数に応じて、交付金を受けていた。
- ・平成26年度に、年間診療実日数の算定方法が変更になり、外来患者が来ない日曜・祝日でも入院患者や救急患者の対応（待機含む）をしている日は実日数に含めることとなった。
- ・北海道から改正の通知があったが、非常にわかりづらく、道内15の有床診療所すべてが申請を誤っていたことが判明した。
- ・平成30年度分は再申請をし、10分の8以内の額が追加交付される予定である。

2. 対応

- ・申請事務を統括している北海道も責任の一端があるものと考え、当該市町村が足並みを揃え、2月19日、下記の申し入れをした。
- (1) 今後は市町村が共通認識のもとで適正な申請事務を進めることが出来るよう、説明会の開催及び補足資料等による通知をすること。
- (2) 平成26年度から平成29年度までに交付された額との差額について、何らかの手立ての検討をすること。

〈議員からの意見〉

- ※道と町のコミュニケーションが全くないのが、このような例に結びついているのではないか。
- ※道外の自治体でも、このような誤りがあったのか。
- ※平成26～29年度分の追加交付の可能性は。

診療所常勤医師の招聘について

「新しい内科の先生が来ます」

町が民間紹介業者に依頼して探していた町立診療所の医師が決まった。

新しい医師は、現在旭川に住んでいる小山典亮（のりあき）さん。小山医師は、内科医で副所長として、令和2年4月1日から診療所に勤務する。

先生は、札幌医科大学・医学部医学科を2005年に卒業し、産業医と認知症サポート医の認定資格を得ている。

〈議員からの意見〉

- ※外科医は引続き募集するのか。
- 外科医師が招聘された場合、内科2名、外科1名の3人体制になるが、スタッフは足りるのか。
- ※今回、民間業者に依頼したため多額の紹介料が発生した。短期間で辞められると、町にとっても多大な負担になる。
- 医師は、最低2～3年勤務するような、契約や覚書などの締結ができないか。

第2期総合戦略策定へ

1. えりも町の人口の推移

総人口：昭和30年の9,267人をピークに、平成27年には4,906人と60年でほぼ半減。

出生数：昭和35年の年間235人から令和元年には20人と10分の1以下に大幅に減少。

2. 国立社会保障・人口問題研究所 (社人研)による人口推計

えりも町の人口は、前回推計より大幅に早いペースで人口減少が進む。

社人研によると2020年の4,444人から40年後の2060年には1,446人に減少する。

3. 目指すべき将来の4つの基本目標

- まちに安定した雇用をつくる
- まちに新たな人の流れをつくる
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 安心・安全で、住み続けたい魅力的なまちをつくる

この人に聞く

歌露和太鼓会

にしかげ

「西風」代表

ささき まさみち

佐々木 将道さん(37)



苦小牧高専を卒業後、長野県の精密機械の会社にエンジニアとして就職し、6年前にえりも町へUターンした佐々木将道さんにお話を伺いました。
(取材・高松)

Q 発足の経緯は
A 歌露神社のお祭りでは「何かお祭りを盛り上げる方法はないかなあ」と話が出たとき、部屋の片隅にあった太鼓を見てこれだと思いました。
誰一人太鼓の経験はなかったのですが、仲間が「やっ

議会の動き

2月20日	広報広聴常任委員会
3月 3日	議会運営委員会
3月10日	全員協議会 第5回定例会招集
3月18日 19日	第5回定例会及び 予算特別委員会 広報広聴常任委員会
3月24日	日高東部消防組合議会
3月26日	日高東部衛生組合議会
4月 14日	広報広聴常任委員会
4月 21日	広報広聴常任委員会
4月 24日	全員協議会

※町内小・中・高等学校の卒業式、入学式への来賓出席は、新型コロナウイルス感染対策のため見合わせとなりました。

てみよう」と言ってくれ、平成30年4月に歌露では西寄りの風が強く吹くことから「西風」として発足しました。

Q 道具の購入や曲作りは
A 自治会や地元企業からの寄付や自分たちも資金を出し合って、和太鼓などをインターネットで買いそろえ、演奏曲もネットの動画を見て「祭り」「走馬天響」などの曲を自分たちなりにアレンジして、えりもらしい曲に仕上げました。

Q 町内のイベントへの参加は
A 最初は下手くそでしたが、毎週練習を重ね、徐々に人にも聴いてもらえるレベルになり、地元のお祭りや成人式、高齢者大会など様々なイベントにも呼ばれるようになりました。

Q 今後の活動は
A 今年は広尾町の「陣屋

多くの人の前で演奏するのは緊張しますし、足も疲れ、汗も噴き出しますが、終わって皆さんから拍手をもらうと結構気持ちいいです。
ここまでは、大変な苦労があったと思いますが、黙々と練習に励む姿に感動しました。「西風」ならではの、えりもらしい「壮大な曲」を完成させ、町民に披露してくれることを願っています。

太鼓」との交流を予定しています。

メンバーはそれぞれ家業を持ち、活動を広げてゆくことには限界がありますが、継続して練習してゆくことで、さらに腕を磨いて皆さんに感動してもらえよう頑張りたいと思います。

編集後記

温暖な冬が過ぎたかと思いきや、連日、新型コロナウイルスのニュースが報道されています。

2月27日から休校が続いていた町内の小中学校も、4月6日から約1か月ぶりに順次再開されました。

楽しそうな児童生徒の笑顔が目につかびます。

一方、この新型コロナウイルス禍により、例年大勢の方が訪れていた春の一大行事である「うに祭り」が中止となり、残念でなりません。

夏の「灯台まつり」までには終息することを願うばかりであります。
(竹内)

※小中高校は、4月20日から休校となりました。

広報広聴常任
委員会委員
委員長 橋本 維広
副委員長 高松 亮裕
委員 竹内 孝文
神田 修
上野 陽司